

2014年度事業報告書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

特定非営利活動法人九州環境サポートセンター

1 事業の成果

2014年度は、九州環境市民フォーラムやエコライフ・カフェ等の交流や学びの場を広げ、九州各県へのネットワーク形成を重点的に行い、同時に、助成金セミナー・スキルアップセミナー等深い学びの場を提供し、市民団体の課題解決を全面的にバックアップしました。更に、相談・コンサルティング機能を高め、連携や発信等のサポート強化をはかりました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の人 数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
(1) 九州の環境保全活動に係る情報の受発信に関する事業	環境情報の発信と提供	通年	事務所	50	九州内の市民 1,000 人程度	923
(2) 九州の環境保全活動を行う市民団体・企業・行政・地域団体のネットワーク支援・促進に関する事業	九州環境一斉アクション	通年	各所	10		63
	エコライフカフェ 九州環境市民フォーラム	5・9・11・3月	九州各県	120	九州内の市民および市民環境団体 250人	1,998
(4) 九州の環境保全活動を行う市民団体・企業・行政の運営又は活動に関する助言又は援助に関する事業	助成金セミナー	11月	佐賀県	20	九州の市民環境団体60団体	1,300
(6) 地域が抱えている環境の課題解決に関する事業	相談・コンサルティング	通年	事務所および団体活動場所	20	九州の環境市民団体30団体	532
(7) 地域環境に関する調査研究事業	調査	通年	事務所および各県	10		336
						5152

※定款変更の見直しを検討中

2014年度事業報告

● 事業実施の方針

九州環境サポートセンターは、九州の豊かな環境を次世代に引き継ぐために、各地で活動している市民団体をはじめ企業・学生・行政等に対し、環境情報の発信や活動・組織運営に関わるノウハウの提供を行います。

また、各地の環境活動に関わる課題・問題点を集約し、解決に向けたセミナーや情報・意見交換か出来る場を提供するとともに、九州一円のネットワークを構築し、九州圏内の環境活動をサポートします。

□ 平成 26 年度は、九州環境市民フォーラムやエコライフ・カフェ等の交流や学びの場を広げ、九州各県へのネットワーク形成を重点的に行い、同時に、助成金セミナー・スキルアップセミナー等深い学びの場を提供し、市民団体の課題解決を全面的にバックアップしました。更に、相談・コンサルティング機能を高め、連携や発信等のサポート強化をはかりました。

【1】 情報発信に関する事業

[事業概要]

活動団体において、多くの課題解決につながる必要なツールとして「情報」がある。しかしながら、「どこから情報を得られるのかわからない」「自分たちの情報を流して欲しい」「告知・募集のサポートをして欲しい」等の情報に関する希望・課題が多く存在する。

そこで、九州圏内各県における情報の受発信を行うことにより、市民活動の活性化に寄与する。

[成 果]

後期、PCおよびソフト整備を進め、情報の随時発信やメルマガ、フェイスブックなどの発信を行うことができた。

① 活動支援としての情報発信

市民活動の一番のニーズである助成金情報や企業・行政からの最新情報や様々な情報を活動団体に提供し、活動がより活性化し、組織の基盤強化がすすむよう情報支援を行った。

② 活動団体の事業・活動の広報・告知支援を行う。

ホームページ、メルマガ、FaceBook、DM などで、会員等の活動団体からの活動告知や活動報告、団体紹介等定期的な情報提供を行い活動団体の活動支援を行いました。

また、新年度ホームページのリニューアルにむけ作成中である。

	メルマガ	Facebook 「いいね！」
予定	4/月配信	292→1000
実際	4/月配信	934

【2】市民の意識啓発に関する事業

環境活動への意識啓発と環境市民活動の理解促進を計る支援活動を行います。また、九州各県の会員とネットワークを組み、九州の環境活動ネットワークによる社会の意識啓発を促進します。

〔活動概要〕

九州一斉環境アクションとして、九州全県に渡り、市民団体と一般市民が一斉に同じ環境の取り組みをし、団体を知りながら、環境意識を高める事業の計画および、会員や事業参加者を中心にヒヤリングを行った。

ワークショップなどでのアイデアだしでは、主体的な企画案を創造いただいた。今後さらに連携を積み、九州一斉の活動が進められるよう準備する。

【3】環境市民活動団体等の交流に関する事業

会員を中心とする学びと交流の場を提供するとともに、会員と市民、企業、行政等間の情報交換やネットワークの場、マッチングの場を提供します。

【エコライフ・カフェ】

〔事業概要〕

九州各県において、情報交換及びネットワークを作りながら、講演やワークショップ等を取り入れ、気軽な交流の場を提供する

開催県	開催日	参加者（目標）	達成率	入会者数
熊本	5月28日（水）	19名（20名）	95%	2名
鹿児島	9月6日（土）	63名（20名）	315%	2団体
大分	11月2日（日）	27名（20名）	135%	1名
福岡	3月28日（土）	34名（20名）	170%	8団体
	集計	143名（80名）	179%	13口

○エコライフ・カフェin熊本

事業名：エコライフ・カフェin熊本

テーマ：「環境先進国ドイツで学ぼう！」～ドイツ研修の報告と研修のすすめ～

日時：平成26年5月28日（水）18:30～20:30

場所：くまもと森都心プラザ6FA会議室

対象：環境に興味のある市民・団体・企業・行政20名程度

参加費：1,500円（資料代等）

主催：特定非営利活動法人九州環境サポートセンター

内容：環境先進国ドイツの報告をもとに、私たちのライフスタイルと市民活動を考えます。また、ドイツ研修の紹介とアドバイスを行う。

申込：事前申込（当日受付あり）

（実施結果）

組織づくりからファンドレイジング等、研修申請段階からの研修成果と現場の話、帰ってからの成果等笑いも起こりながら、講師の熱い語りとともに参加者も熱心に聞き入っていた。

質疑応答では、安全な食への姿勢や広報のテクニック等突っ込んだ質問まで出されていた。

多くの参加者に満足いただいております、終了後も講師や参加者同士の情報交換・名刺交換の渦で盛り上がっていました。

参加者数：19名（参加目標20名）（当日キャンセル4名）（会員2名）入会者数：新規2名

○エコライフ・カフェ in かごしま

日時：平成26年9月6日（土）13時半～17時

会場：かごしま環境未来館

参加者数：63名（38団体）スタッフ数（事務局及び講師）7名

流れ：

- 1 活動事例発表①鹿児島大学 SCP②NPO 法人 Panda③工房てたか
- 2 基調講演「エコその先へ・・・エシカルな鹿児島の未来づくり」岡靖敏氏
- 3 環境活動ワークショップー活動課題の明確化とチーム解決体験ー

概要：

1 活動事例発表

①鹿児島大学 SCP

鹿児島大学の Eco-Sweets の5年目の現在の取り組み事例を発表。

生ゴミリサイクルから付加価値をつけたスイーツづくりをすすめ、参加協力・パートナー企業が拡大し、全国規模の表彰も受けるすばらしい事例。

②NPO 法人 Panda

アーツマネジメントによる様々な表現事業の中でも今注目されている段ボールハウス。その心と表現力を育む力とともに、100%古紙による環境配慮意識を持った事業コーディネートの事例。

③工房てたか

観光畜産や食育をとおしてプログラムを展開

2 基調講演

「エコその先へ・・・エシカルな鹿児島の未来づくり」岡靖敏氏

最新の地球温暖化の私たちの生活に及ぼされる影響についてから、エシカルと呼ばれる社会を意識したエコから誰かのためにみんなのために（利他）行うエコへ今市民の意識は変化してきており、私たちの事業形態も今見直す時期に来ていると話が続く。

3 環境活動ワークショップー活動課題の明確化とチーム解決体験ー

環境ワークショップでは、NPO 法人九州環境サポートセンターの紹介をしながら、自分たちの団体が持つ課題を挙げ、共有し、グループの課題テーマの現状解析とその解決について考えた。多くの参加者が一同に会し、熱気あふれるセミナーとなった。

○エコライフカフェ in 大分豊後大野市

1 事業名 エコライフカフェ in 大分豊後大野市

「豊後大野の魅力の引き出し方、伝え方」

2 期 日 平成26年11月2日（日）10時～16時半

3 会 場 豊後大野市ジオサイト倶楽の郷伝承体験館

4 対 象 地域ニーズから、今回、ジオパークに認定された

豊後大野市の協力のもと、環境保全・環境教育分野の人材や団体を中心にプログラム企画を行った。

参加者27名（135%:予定20名）入会1名スタッフ7名

5 概要 1 講演 2 地域食 3 フィールドワーク 4 まとめWS

6 内容

①スティーブブラウン氏による「アメリカの大自然で培われたインタープリテーションに学ぶ、地域の魅力の引き出し方・伝え方」と題して、アメリカにおける環境教育や環境保全の歴史や現場の話をスライドを使ったストーリーテリングで学びながらインタープリテーション教材等を実際に手に取り学ぶことができた。「わかりやすかった」「どのような視点で参加者に伝えればいいのかわかった」等、素晴らしい講演に、インタープリターの意味を学ぶことができた。

②地元の地産地消食材を使つての昼食をとる。食材やメニューの説明を行うとともに、地域にお金を落とす意味を学ぶ機会とした。

③ジオパークのガイド現場に出かけ、インタープリテーション体験を行う。地位質だけに偏りがちのプログラムが、エコツアーとしての意味合いを気づかされる機会となった。

③ ティータイムをとりながら、振り返りに時間を取る。

7 アンケート 満足度 9.136

○エコライフカフェ in 福岡

3つの目的を柱として実施した。

- ・有機農産物やマクロビ、日常口にする食品の添加物など食の全般について興味のある一般の方に、NPOや環境市民活動を身近に感じてもらうことで、参加した環境市民団体の周知につなげる。
- ・環境市民団体（有機農産物の生産者や自然食品経営者）には、一般の方に対する活動PRの場としてもらうとともに、事例紹介を今後の活動の参考にしてもらう。
- ・福岡県の環境市民団体や有機農産物関係者の活動状況やニーズ等を情報収集し、来年度のエコライフカフェ事業への展開充実を図る。

日時	平成27年3月28日(土)10:00~16:30 ※マルシェ開始 10:00~ 講演会受付 12:00~
場所	まちの入りあい地 特定非営利活動法人 環境未来センター希望(福岡市博多区 奈良屋町2-16/TEL 092-292-3706)
参加対象	食と環境に興味のある市民、団体、企業、行政関係者
参加費	一般 1000円/会員 500円、当日 一般 1500円/会員 1000円 主催:NPO 法人九州環境サポートセンター 共催:手光えこびれっじ S・O・I・L
実施体制	協力:まちのいり合い地 NPO 法人環境未来センター希望、有機建築研究所、土居自然学校

目標参加人数	20名	参加者人数	34名 (170%)
目標入会者数	2	入会者数	8 (400%) 検討中3が追加予定

【九州環境市民フォーラム】

[事業概要]

九州の環境保全という共通の理念のもとに、市民団体・企業・行政・学生など、様々な立場や分野で活躍する団体・個人が一堂に会し、九州全域のネットワークを築くことで活動意欲を促進し、各団体等の活動の幅を広げる。

九州の各環境市民活動団体等の抱える問題を共有し、改善を目指し、基盤強化を促す。九州の環境に関する政策や仕組み等を提言・発信する機会を作り出す。環境市民活動団体等の発表の場を提供することで、市民の環境活動の発展・活性化・継続化を図る。

特に平成 26 年度は、他団体等の差別化差別化を計るため、市民団体が必要な情報を的確に得られる学びのセミナーを中心におくことで、サポセンの専門性の発信や確認につなげ、相談業務等への足がかりとすることも目標に実施した。

事業名：第 11 回九州環境市民フォーラム in 熊本

開催日：平成 26 年 11 月 7 日（金）8 日（土）

開催場所：熊本市国際交流会館及び城彩苑交流施設

参加者人数：参加者のべ 44 名（目標人数のべ 150 名）

講師・司会者のべ 40 名、理事・スタッフのべ 20 名

（講師・司会者は自身の担当以外はセッション参加）

内容：1 日目 基調講演木村尚氏

セッション 1 / セッション 2

交流会（自由参加 26 名参加）

2 日目 セッション 3 / セッション 4

全体セッション

基調講演木村氏による「海辺の自然環境再生の意義」として、アマモの重要性や記帳な実践事例のご紹介。

セッションは 17 セッションを設け、最新情報や優良事例を提供いただいた。

参加者からは、素晴らしい実践事例や講師・司会の方との出会いを持ってよかったと評価いただいた。全体セッションでは、九州の環境市民活動の輪を広げるために、九州一斉の環境アクションの企画提案ワークショップを行い、たくさんの案を起案いただいた中、ネット上での参加型情報発信プログラムの企画を実施の方向に向け事務局で取り組んでいく方向となった。

【4】市民団体の研修に関する事業

九州内の市民団体・NPOが最も支援を必要としていることは資金面であることから、助成金や補助金の獲得に必要な情報やノウハウを提供するために、助成金セミナーを開催する。

事業名：環境市民活動助成金セミナー（佐賀）

開催日：2014年11月29日（土）13：00～17：00

会場：佐賀市市民活動プラザ

参加者：13名（目標人数：40名）スタッフ関係者：23名

事例紹介 1

NPO法人かいろう基山松原幸孝氏

かいろう基山の設立から「夢」をみんなのものとし、助成金・補助金の獲得推移や資金をどう活かしていくかについて

事例紹介 2

環境保全教育研究所生月菜々子氏

志から地域を巻き込んだ活動に至る推移や資金獲得と収入バランスの目指す姿を描き、ミッションを達成するための資金の考え方

助成説明

【公益財団法人佐賀未来創造基金】

助成金だけでなく、資金を集める仕組みづくり

【NPO 法人モバイル・コミュニケーション・ファンド】

この助成金でどうなりたいのか、どんな社会をつくりたいのか！がポイント

【環境再生保全機構】

プロジェクトデザインが明確かを見ます！

【EPO九州】

活性化に向けた協働加速化事業について

【一般財団法人セブンイ・レブン記念財団】

連携を大切にしたい！

参加者からは、じっくりと助成先の話が聞くことができ、個別相談の時間に持参した計画シートを元に打合せできてよかったと感想をいただいた。

【5】 その他、相談・コンサルティング及び調査・研究・提言に関する事業

[事業概要]

NPO 団体などからの相談に対して、組織や活動へのコンサルティング、アドバイス、事業コーディネート、団体や相談機関などの紹介ネットワーク、各相談に合わせた専門家の紹介などを行います。

また、行政・企業・NPO 等の様々な情報収集を行うとともに、NPO の現状を把握し、活動促進や協働促進を進める為の仕組みづくりを提案します。

[計画]

実施スケジュール：通常業務にあわせ随時行う

実施場所：当法人事務所及び各県の団体施設等

目標数：相談業務等20件程度

	計画	実施
相談	新規相談20件	22件